

## 熊本地震 被災者の生活再建、被災地復興を早く

### 喜ばれた保育の支援 土庫病院ひまわり保育所のみなさんが熊本に

大地震に何度も襲われた熊本地方、ここでも「いのちは平等、医療に格差無し」を掲げて、地域の人々と共にいのち・健康・暮らしを守る取り組みをしている病院や診療所があります。こうした医療機関は被災後すぐに診療活動を再開、被災した多くのスタッフ・職員も休む間もない医療活動に取り組みますが、困ったのは学校、幼稚園、保育所の閉鎖。やむを得ず「子連れ出勤」せざるを得ない人たちも。

そこに名乗りを挙げたのが土庫病院ひまわり保育所の保育士さんたち。勤務をやりくりし、交代で熊本に駆けつけました。参加した保育士さんたち（いずれも健全会友の会山歩きクラブ会員）の感想

をご紹介します。

**トキソウ（佐賀・榎原湿原）↑**



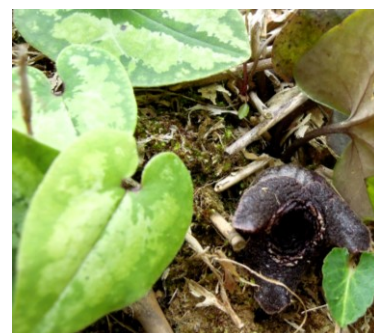
### 中里久美子さん

最初の支援は、列車を乗り継いで現地にたどり着きましたが、支援先は宿泊の問題が改善されていました。被災地域への訪問活動もあり、保育支援だけでなく、全国からのいろんな支援の方達とも出会え、

**↑サラサドウダン（佐賀・背振山）**

本当に行って良かったと思いました。支援先の保育所は病院の敷地内にありながら自然に囲まれ、のびやかな保育が実践され、それにも刺激を受けました。子どもたちは保育所でたくましく過ごしていましたが、震災での心の傷も見えて、これからの精神面での支援の必要性を感じました。

**タイリンカンアオイ（福岡・福智山）⇒**



### 守武真貴子さん

現地で、多くの職員の子どもたちを預かっていた保育士さんたちから、職員たちが自らも被災しながら、職場の回復に奮闘していたと聞き、保育を支えるということは職員を支えることであると確信をもちました。

震災対策本部の事務局員から「どんな時でもしっかり保育をしてくれる保育士さんが居るから、職員は安心して仕事ができる」と、看護師さんからは「院内保育所があることはとてもありがたい」との声を聞き、保育の意義ややりがいを感じました。また全国の熱い思いの

**↓ササユリ（6月2上山）** 人たちとの出会いは災害時の保育のありかたを改めて考えさせられました。



### 松岡千賀子さん

「非常勤の保育士です」と現地で自己紹介するとみんなびっくり。「定年後継続

雇用で」と言うときさらにびっくり。年下の職員の人たちの刺激になったようです。

保育も随分落ち着きを取り戻しながらも、時々余震もあって、子どもの怖がる姿にはやはり心の傷の深さを感じました。自宅が半壊や全壊のため、車中泊の人も多く、まだまだ支援の必要性を感じました。

## 続・二上山に咲く花々 6

ササユリ⇒

(6月二上山)



## ガクウツギ (額空木)

ユキノシタ科アジサイ属

雑木林の林縁をこの花が白く縁取り始めると、山は夏への歩みを速めます。

白い大きなのは、ふつう 3 枚の花弁状の額片から成り、「装飾花」と呼ばれる飾りで果実はできません。中央に固まっている多数の花は、はじめ淡黄緑色で後に黄色になりますが、この花に虫たちを呼び寄せる役割を「装飾花」が果たしていると考えられています。

この花は、二上山はもとより、三重県の山でも、福岡県福智山でも、佐賀県檜原湿原でもよく咲いていました。

## 続・二上山に咲く花々 7

### カマツカ (鎌柄)

バラ科カマツカ属

5月ごろ、白く小さい花が固まって咲き、山林に初夏の雰囲気をつくりだします。

木の材は固くて、丈夫で、折れにくいので、よく 鎌の柄を作ったそうので、別名の「ウシゴロシ」も牛の鼻に通す輪を作ったからとか、その輪を通す穴をあけるのにこの木を使ったからとか言われています。

秋、葉は美しく紅葉します。又赤い実をたくさん着けます。良く庭木として植えられています。

